

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	1年
----	------	----	----

1 学習の目的

体育分野

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

保健分野

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
	ダンス	・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。
	器械運動(マット運動)	・マット運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができるようにする。
	球技(バレーボール)	・バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
	体育理論 運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの多様性について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
2 学期	体育分野 武道(剣道)	・剣道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。

	<p>陸上(長距離走)</p> <p>球技(サッカー)</p> <p>保健分野 健康な生活と病気の予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
<p>3 学 期</p>	<p>体育分野 球技(サッカー)</p> <p>球技(ソフトボール)</p> <p>ダンス</p> <p>保健分野 心身の発達と心の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。 ・心身の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

3 評価

令和5年度 保健体育科 評価基準

観点	目指す生徒の姿	評価材料	評価基準	
			知識	技能
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけた生徒。	授業中の取り組み	A: 運動の特性に応じた技能や健康・安全について十分理解して、授業に取り組んでいる。 B: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてある程度理解して、授業に取り組んでいる。 C: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてあまり理解していないが、仲間の支援を受けながら取り組んでいる。	A: 運動の特性に応じた技能を習得するとともに健康・安全についても十分理解し、練習やゲームに活かすことができる。 B: 運動の特性に応じた技能の習得、健康・安全についてある程度(大体)身に付けて、練習やゲームができる。 C: 運動の特性に応じた技能の習得や健康・安全について十分身につけてはいないが、仲間の支援を受けながら取り組むことができる。
		単元テスト(知識) 技能テスト(技能)	A: 点数が8割以上(運動の仕方や技能のポイントを十分理解している。) B: 点数が5割以上(運動の仕方がある程度理解している。) C: 点数が5割以下(運動の仕方をあまり理解していない。)	A: 学習したことを技能として十分に習得することができる。 B: 学習したことを技能としてある程度習得することができる。 C: 学習したことを技能として少し習得することができる。
		振り返り(動画振返等)	A: 学習した知識を十分理解している。 B: 学習した知識をある程度理解している。 C: 学習した知識をあまり理解していない。	A: 学習した技能を十分習得し、練習やゲームに活かすことができる。 B: 学習した技能をある程度習得し、練習やゲームをすることができる。 C: あまり習得していないが仲間の支援を受けゲームをすることができる。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒。	授業中の取り組み	A: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践するとともに新たな取り組みを工夫・改善し、仲間に伝えている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、取り組んでいる。	
		学習カード等の提出物	A: 自他の課題に対して解決策が具体的に記入されており、新たなアイデアなどを生み出すそうとしている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に記入している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、記入している。	
		単元テスト(動画振返等)	A: 点数が8割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫・改善するとともに仲間に伝えている。) B: 点数が5割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を考え(提示されたものを選択し)、実践している。) C: 点数が5割以下(練習やゲームでの自他課題を仲間の支援を受けながら確認し、仲間とともに実践している。)	
主体的に取り組む態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ることができる生徒。	授業中の取り組み、態度	A: 健康安全に留意し、授業に主体的に取り組むと共に、誰とでも分け隔てなく公正・公平な態度で接し、模範となり授業を積極的にリードしている。 B: 健康安全に留意し、授業に意欲的(積極的)に取り組むとともに、公正・公平な態度で取り組んでいる。 C: 健康安全に留意し、授業に意欲的(一生懸命)に取り組んでいる。	
		ワーク等の提出物(振り返り)	A: ワーク等の各項目に自分の考えを具体的にまとめるとともに、他者のアイデア等も記述している。 B: ワーク等の各項目に必要な事項を記述している。 C: ワーク等の各項目に記述していない。(仲間の支援を受けながら記入している。)	
		授業への参加状況	A: 授業に主体的に取り組んでいる。 B: 授業に積極的に取り組んでいる。 C: 他のサポートを受けながら授業に取り組んでいる。	

※ I 評価 A:「十分満足できる」状況と判断されるもの B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの C:「努力を要する」状況と判断されるもの

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

2. 授業のきまり

授業前

- ①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。
- ②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力することで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

3. 授業システム

- ①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。
- ②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。
- ③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

4. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	2年
----	------	----	----

1 学習の目的

<p>体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ■運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 <p>保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ■生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
--

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
	ダンス	・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。
	球技(バレーボール)	・バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
	水泳	・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けることができるようにする。
	体育理論 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

<p style="text-align: center;">2 学 期</p>	<p>体育分野 球技(ソフトボール)</p> <p>球技(バレーボール)</p> <p>陸上(長距離走)</p> <p>保健分野 健康な生活と病気の予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
<p style="text-align: center;">3 学 期</p>	<p>体育分野 陸上(長距離走)</p> <p>体づくり運動</p> <p>保健分野 傷害の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。 ・傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

3 評価

令和5年度 保健体育科 評価基準

観点	目指す生徒の姿	評価材料	評価基準	
			知識	技能
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけた生徒。	授業中の取り組み	A: 運動の特性に応じた技能や健康・安全について十分理解して、授業に取り組んでいる。 B: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてある程度理解して、授業に取り組んでいる。 C: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてあまり理解していないが、仲間の支援を受けながら取り組んでいる。	A: 運動の特性に応じた技能を習得するとともに健康・安全についても十分理解し、練習やゲームに活かすことができる。 B: 運動の特性に応じた技能の習得、健康・安全についてある程度(大体)身に付けて、練習やゲームができる。 C: 運動の特性に応じた技能の習得や健康・安全について十分身につけてはいないが、仲間の支援を受けながら取り組むことができる。
		単元テスト(知識) 技能テスト(技能)	A: 点数が8割以上(運動の仕方や技能のポイントを十分理解している。) B: 点数が5割以上(運動の仕方がある程度理解している。) C: 点数が5割以下(運動の仕方をあまり理解していない。)	A: 学習したことを技能として十分に習得することができる。 B: 学習したことを技能としてある程度習得することができる。 C: 学習したことを技能として少し習得することができる。
		振り返り(動画振返等)	A: 学習した知識を十分理解している。 B: 学習した知識をある程度理解している。 C: 学習した知識をあまり理解していない。	A: 学習した技能を十分習得し、練習やゲームに活かすことができる。 B: 学習した技能をある程度習得し、練習やゲームをすることができる。 C: あまり習得していないが仲間の支援を受けゲームをすることができる。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒。	授業中の取り組み	A: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践するとともに新たな取り組みを工夫・改善し、仲間に伝えている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、取り組んでいる。	
		学習カード等の提出物	A: 自他の課題に対して解決策が具体的に記入されており、新たなアイデアなどを生み出すそうとしている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に記入している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、記入している。	
		単元テスト(動画振返等)	A: 点数が8割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫・改善するとともに仲間に伝えている。) B: 点数が5割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を考え(提示されたものを選択し)、実践している。) C: 点数が5割以下(練習やゲームでの自他課題を仲間の支援を受けながら確認し、仲間とともに実践している。)	
主体的に学ぶ態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ることができる生徒。	授業中の取り組み、態度	A: 健康安全に留意し、授業に主体的に取り組むと共に、誰とでも分け隔てなく公正・公平な態度で接し、模範となり授業を積極的にリードしている。 B: 健康安全に留意し、授業に意欲的(積極的)に取り組むとともに、公正・公平な態度で取り組んでいる。 C: 健康安全に留意し、授業に意欲的(一生懸命)に取り組んでいる。	
		ワーク等の提出物(振り返り)	A: ワーク等の各項目に自分の考えを具体的にまとめるとともに、他者のアイデア等も記述している。 B: ワーク等の各項目に必要な事項を記述している。 C: ワーク等の各項目に記述していない。(仲間の支援を受けながら記入している。)	
		授業への参加状況	A: 授業に主体的に取り組んでいる。 B: 授業に積極的に取り組んでいる。 C: 他のサポートを受けながら授業に取り組んでいる。	

※ I 評価 A:「十分満足できる」状況と判断されるもの B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの C:「努力を要する」状況と判断されるもの

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

2. 授業のきまり

授業前

- ①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。
- ②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力することで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

3. 授業システム

- ①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。
- ②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。
- ③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

4. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	3年
----	------	----	----

1 学習の目的

<p>体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ■運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う <p>保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ■生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。
	ダンス	・ダンスについて、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。
	球技(ソフトボール)	・ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。
	水泳	・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。
	体育理論 文化としてのスポーツの意義	・文化としてのスポーツの意義について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

2 学 期	体育分野 球技(バレーボール) 球技(ハンドボール) 保健分野 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・ハンドボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
3 学 期	体育分野 陸上競技(長距離走) 球技(バドミントン) 保健分野 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ・バドミントンについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<p><知識> ・運動の特性に応じた技能や、健康・安全について理解することができる。</p> <p><技能> ・学習した技能を身につけることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・審判法 ・授業の取り組み ・技能テスト ・試合でのプレイ ・発表会、記録など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目において自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・授業の様子 ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進の体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ろうとすることができる。 ・健康安全に留意し授業に主体的に取り組むもうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの様子(自主的に取り組む、助け合い、教え合い、話し合い) ・ルールやマナーを守る ・他者評価 ・健康・安全を確保する ・小テスト,学習カード

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

2. 授業のきまり

授業前

①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。

②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力することで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。

水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

3. 授業システム

①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。

②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。

③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

4. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。